

第2回 フォーラム in くるめ

2005 12/10(土) 11(日) 石橋文化センター 会場:共同ホール(久留米市)

テーマ: 地域で学び・地域で働き・地域で暮らす



人は、障害があろうと、なかろうと、
家族・地域のなかで暮らし、学び、仕事をし、
いきいきとたくましく生きていきたいと思っています。
その一人ひとりの思いを大切にするために、
わたしたちは何に気付き、何をし、
何を創り出していけばよいのでしょうか？



第1回フォーラム in くるめの成果

昨年は、150名の実行委員が集まり、当事者、行政関係者、福祉医療関係者、教育関係者、事業者、市民がはじめて力を合わせてフォーラムを企画、運営しました。2名の当事者をはじめ、厚生労働省から2名、全国の地域福祉をリードしている方々11名に登壇していただき、時代のニーズに応えた内容で、1300名の参加者に「元気と明日への展望」をもたらすことができました。

第2回フォーラム in くるめの内容

□当事者から見て

昨年度のフォーラムの当事者からメッセージ「久留米では当事者の話をじっくり聞いてこなかったんじゃないか！」本当にそうです。久留米の障害者に登壇してもらい、「当事者から見た社会」を語ってもらいます。

□障害者自立支援法

今年度制定された障害者自立支援法、「いったいどうなるのか」と当事者も事業所も困惑しています。具体的なことがはっきりする時期ですので、「障害者自立支援法でどう変わる？どう変える？」ということで、厳しい議論が予想されます。

□教育について

一緒に幼稚園や保育園で育ち、学校で学び、一緒に過ごすことで分かり合えることは多いものです。まさに「地域福祉は教育からはじまる」と思います。

一緒にいることの意味や将来像を見据えた共生教育のあり方を考えあいましょう。

□就労について

「障害者の就労」というと遠い話に聞こえるかも知れませんが、本当は地域でも働く人たちは増え続けているのを知っていますか？

きっと障害が軽くて・理解のある会社だから・なんて思っていないですか？

「会社で働きながら暮らす魅力」今回は事業所や当事者から意外なことが聞けるかも・・・

1日目 12/10(土)	9:00 受付開始 9:30~45 福岡県知事挨拶 開会行事	9:45~12:45	12:45~13:45	13:45~15:15	15:15~17:15	18:00~20:00
		シンポジウム1 「地域福祉は教育からはじまる」 西田 良枝 (NPO パーソナルアシスタンスとも代表) 佐藤 進(埼玉県立大学 教授) 石橋 康秀(福岡県教育庁特別支援教育室) 小野 ルミ(福岡県障害者雇用支援センター 就労支援ワーカー) 馬場美代子(久留米市立青陵中学校教師) 松本真由美(久留米市立牟田山中学校保護者) 進行: 武末龍泰(久留米市立鳥飼小学校長)	昼食 	メッセージ1 「当事者から見た社会」 ~もっと身近に感じてほしい~ 地域の当事者たち 進行: 早川 成 (筑後地区ノーマライゼーション 研究会代表)	シンポジウム2 「トップが語る」 ~これがうちの自慢~ 松崎 秀樹(千葉県 浦安市長) 森 貞述(愛知県 高浜市長) 牟田 秀敏(佐賀県 鳥栖市長) 江藤 守國(福岡県 久留米市長) 進行: 大森 伸昭 (西日本新聞社 久留米総局長)	交流会 会場: ホテルニュープラザ

2日目 12/11(日)	9:30 受付開始	10:00~12:00	12:00~13:00	13:00~16:00
		セッション 「障害者自立支援法はどうなる？ どう変わる？」 大塚 晃(厚生労働省 障害福祉専門官) 佐藤 進(埼玉県立大学 教授) 曾根 直樹(埼玉県ひがしまつやま市 総合福祉エリア施設長)	昼食 	メッセージ2 「会社で働きながら暮らす魅力」 企業と働く当事者たち 発表: 増田 秀暁(産業カウンセラー、 ココロネット代表 他) 福山 良二(月星化成株) 人事課課長) 井手 正宏(農業組合法人 豊地の郷) 進行: 橋本 みきえ (西九州大学 社会福祉学科 講師)

1日目に登場



西田 良枝 氏
にしだ よしえ
NPO パーソナルアシ
スタンスとも代表

2日とも登場



佐藤 進 氏
さとうすすむ
埼玉県立大学
社会福祉学科 教授

2日目に登場



増田 秀暁 氏
ますだ ひであき
2004年3月ヤマト運
輸及びスワン退社。
現在、NPO 法人運営な
どに携わる。

* 講師の都合や社会状況などにより、プログラムの変更があることが予想されます。ご了承ください。